

会議記録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成26年度 玉藻公園管理委員会
開催日時	平成27年3月27日(金) 午前10時～11時
開催場所	玉藻公園 披雲閣 蘇鉄の間
議題 (報告事項)	1 指定管理者による平成26年度事業について 2 指定管理者による平成27年度事業計画について 3 玉藻公園入園状況及び披雲閣利用料実績について 4 平成27年度玉藻公園の整備、史跡高松城跡保存整備事業について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	吉田会長、川西副会長、小河委員、中村委員、佐伯委員、 豊田委員、篠永委員、小西委員、藤田委員
傍聴者	
担当課及び 連絡先	文化財課 文化財管理係 839-2660

会議の経過及び結果

今回の議題は報告事項のみで、事務局の説明後、委員から下記の意見等があった。

(委員) 5月5日の一般開放60周年記念イベントの一般へのPRは充分か。

(事務局) 4月に入って業者を選定し、チラシ、ポスター、市のホームページ、玉藻公園のホームページ、フェイスブックで周知していきたい。また、着物で多く来ていただきたいので、市内の和装学院などに直接出向いて協力をお願いする予定。参加を呼び掛けるチラシを小学校へ配布。先日高知県で行われたさわち祭り(3/22)でブースを設け観光をPRした。また、サービスエリア(小谷3/28、西宮3/29)で玉藻公園一般開放60周年をメインにキャンペーンを行い県外からの誘客をしていきたい。

(委員) 鉄砲隊の参加人数が少ないのではないかと。さみしいのでPRをもっとして人数が増えて桜の馬場が賑わうようにしたらどうか。

(事務局) 丸亀城でも鉄砲隊は活動しているが、活動当初は少なかったが、徐々に定着し人数を増やしてきている。活動が定着し、観覧人数が増えるよう努力していきたい。

(委員) 有線放送が3月末でなくなる。そういうのも活用したらよかったのだが、だんだんさみしくなる。

(委員) 小学生の写生大会などを開催するのはどうか。小学生を対象とするとその親も含めて参加できるのではないかと。もう少し親子で参加できる事業、例えば写真大会など、企画してはどうか。

(事務局) 夏と秋にも60周年記念事業を開催予定なので、そちらで参考にしたい。

(委員) 報道機関が行事前に報道を行っているケースも見受けられる。そういう報道機関を利用してもっと前に報道してもらえば、60周年記念イベントを広く周知していくには有効なのではないか。

(事務局) 4月に入って業者が決まり、内容が固まった時点で、積極的に周知していくようにする。事前の広報について広聴広報課と連携して積極的に行っていく。

(委員) 利用状況の説明で利用率、稼働率が多い方が良いという話がすすんでいるが、史跡を守るという意味ではどうだろうか。ある程度、利用率稼働率を抑えることも必要なのではないか。

(事務局) 保存は前提条件が必要。しかし、活用することも全国的に重要視されている。利用者が増えても、指定管理者に十分対応していただいているので、現在は必要キャパシティ内で利用されていると考えている。

(委員) 高松には残念ながら天守がない。高松は屋島の活性化など様々な形でにぎわい創出のために活動されており、玉藻公園も天守がないが桜御門を現在復元作業しているので楽しみにしている。出来上がると、おそらく入園者が増えるのではと思うのだが、そのあたりの見通しについて分かる範囲で教えて欲しい。

(事務局) 平成27年度、桜御門の解体、積直しを行い、実施設計にとりかかり、28・29年度に桜御門の整備をする予定。それに対する入園者の見込みはなかなか立てにくいですが、地久櫓台の石垣の修理等で堀を埋めている作業ヤードを早く撤去し、桜の馬場と線路の間にある用地の整備をすすめて、多くの方に来ていただきたい。

(委員) 城内中学校確認調査はどういうことをしているのか。

(事務局) 今年度解体工事が完了しておらず、来年度に入っても工事が続く予定。解体に合わせて、堀と櫓の跡を確認しているので、27年度に発掘調査を予定している。玉藻公園として整備していきたい。

(委員) 桜の馬場の西側について、電車から見ていると、草が生えていて見苦しい。今、整備されていない様子で今後どうするのか。

(事務局) 用地は財務省の所有、管理は史跡地なので市で行う方向で、四国財務局と調整中である。

(委員) 東門から入って披雲閣までのう回路を桜の馬場に白線を引いて誘導しているが、工事看板が人工的で違和感を覚える。また、ヒールや靴でう回路の芝生がすでに傷んでいるので残念である。雨の日は特に靴がドロドロになっている。何とかならないか。

(事務局) 工事の施工業者に伝えるが、コストの面もあるので検討したい。

(委員) 桜の植樹はどういった経緯で行っているか。

(事務局) 先日、蜂須賀桜を高松西ロータリークラブからいただき、桜が枯れてしまったところに植えている。

(委員) 桜の馬場は今以上に植えるのは樹勢がおかしくなるのでよろしくない。琴電西側の芝生の緑地帯がそのまま緑地帯として残るのであれば、寄附の樹木があればあちらに植樹すればもっと魅力的になるのではないか。

(事務局) 連続立体交差の予定は現在中止となっているが、取りやめにはなっていない。都市計画決定は残ったままなので、琴電西側緑地帯に植樹するのはむずかしい。

(委員) 東門の開門時間が西門より遅いため早朝は通り抜けができない。高松駅から玉藻公園を通過して県立ミュージアムに行けるといいのではないか。通勤する客も通れるように、東門の開門時間を考えてみてはどうか。

(事務局) 県立ミュージアムとの連携は市としても重要に考えている。広く連携して市民の皆様や高松を訪れた皆様に高松の施設を気持ちよく利用いただけるよう努力していくとともに、皆様の協力も今後ともよろしくお願ひしたい。

(委員) 東門駐車場が無料なので、玉藻公園で行事がないのに駐車場がいっぱいということがしばしばある。玉藻公園の駐車場は玉藻公園の利用者のものであるべきではないか。駐車場に人を配置しても、「あとで玉藻公園によるから」といわれると何も言えないといていた。

(事務局) 検討する。